

東通村診療所に新しい研修医が来ました！



7月23日から8月19日まで、加藤 博樹（かとう ひろき）医師が研修医としていらっしゃいました。

加藤先生は大阪出身。子どもの頃は公園で友達と遊びまわったり、活発に過ごされていたとのこと。

京都府立医科大学卒業後、現在は洛和会音羽病院に研修医として所属しております。学生時代はサッカー部に所属し、バイトで貯めたお金で色々な国を旅行されていたそうです。

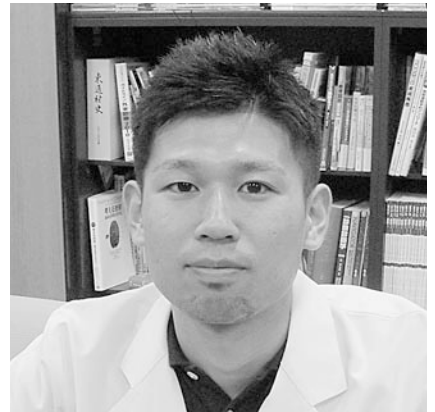
趣味は旅行。特技はサッカー。休みの日は、買い物に出かけ

たり、家でのんびりとお過ごしとのこと。

医師を目指すきっかけは、高校1年生の時に膝の靱帯を断裂して手術を受けた際に色々思うところがあり、医師を志したそうです。患者さんに「ありがとう」と感謝してもらえるときに素直に医師になって良かったと思うそうです。

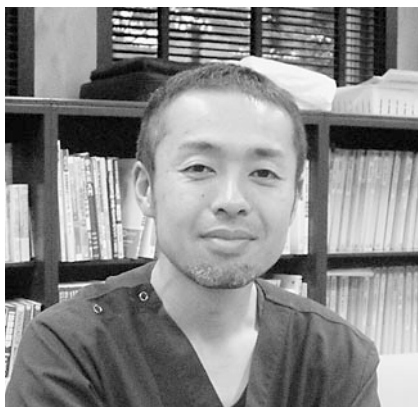
研修にあたって、地域医療とは何たるかをしっかりと体験したいと希望をお話してくださいました。

大阪の出身なので、関西弁を話しますが、きつく聞こえてし



まわらないか不安だと話しておりました。

「少しでも地域の皆様に貢献できるように頑張ります」とメッセージいただきました。宜しくお願いします。



7月30日から8月24日まで、桐谷 浩一（きりたに ひろかず）医師が研修医としていらっしゃいました。

桐谷先生は福岡県北九州市出身。少しやんちゃな子ども時代だったとのこと。九州大学卒業後、現在はむつ総合病院に研修医として所属しております。

大学時代の思い出は卒業旅行で訪れたフランス・イタリア旅行だそうです。初めての海外旅行で視野が広がったとおっしゃ

っておりました。

趣味は自転車（ロードバイク）、自動車、ジョギングだそうです。特技は、柔道、ドリット（車の運転）、麻雀だそうです。

最近の休みの日の過ごし方は、自転車でツーリングに出かけたり、筋トレ、ジョギング等をする人が多いそうです。

医師をめざすきっかけとなったのは、人生を見つめ直すきっかけがあり、世の中の役に立ちたいと思い、医師しかないと考えたから。

医師になって良かったと思うことは、回診時等で病室を訪れた際に、自分と話すことで患者さんが笑顔になってくれると嬉しく感じるそうです。

将来は循環器内科医としての専門性を持った上で地域医療に貢献できる医師になりたいとの

こと。在宅でのターミナルケアにも興味があり、「この先生に看取ってもらいたい」と言われるようになりたいとお話ししてくれました。

東通村を研修先とした理由は、むつ病院の先輩の研修医の先生方が大変勉強になったとおっしゃっていたから。

研修にあたって、「先輩からは外来を担当したり病棟では主治医のような役割を与えてもらえると言ったので責任を持ってしっかりと診療にあたりたい」と抱負を述べて頂きました。

「1ヶ月という短い期間ですが、皆様に受け入れて頂けるようしっかりと診療にあたり勉強させていただきます。よろしくお願いします」とメッセージいただきました。